

2023年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年9月20日

上場会社名 株式会社ツルハホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3391 URL <https://www.tsuruha-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴羽 順
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 村上 誠 TEL 011-783-2755
 四半期報告書提出予定日 2022年9月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績（2022年5月16日～2022年8月15日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	243,181	3.2	13,317	3.3	13,357	3.2	7,501	△0.5
2022年5月期第1四半期	235,684	4.9	12,889	△15.0	12,944	△15.6	7,536	△17.5

（注）包括利益 2023年5月期第1四半期 11,446百万円（22.7%） 2022年5月期第1四半期 9,330百万円（△35.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	154.48	154.03
2022年5月期第1四半期	155.27	154.77

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第1四半期	520,531	290,846	50.8	5,444.06
2022年5月期	562,363	284,046	45.9	5,314.48

（参考）自己資本 2023年5月期第1四半期 264,392百万円 2022年5月期 258,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	83.50	—	83.50	167.00
2023年5月期	—	—	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	116.50	—	116.50	233.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年5月16日～2023年5月15日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	481,700	4.1	21,900	△3.6	21,949	△3.0	12,600	△1.1	259.51
通期	968,800	5.8	42,700	5.3	42,571	6.3	22,640	5.9	466.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期1Q	49,452,068株	2022年5月期	49,439,968株
② 期末自己株式数	2023年5月期1Q	886,721株	2022年5月期	886,655株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期1Q	48,561,357株	2022年5月期1Q	48,537,138株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化により上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年5月16日～2022年8月15日）における経済情勢は、新型コロナウイルス感染の再拡大のなか人流は戻りつつあるものの、物価上昇が進行しており消費マインドは弱含みの傾向で推移しました。

ドラッグストア業界においては、巣ごもり需要の反動減や水道光熱費の高騰により経営環境がより厳しくなる一方、出店競争は続いており、これまで以上に採算を重視した経営戦略が迫られています。

このような状況のもと、当社グループではお客様の声を汲み取りながら接客サービスの向上に取り組むとともに、精肉・青果や百円ショップの導入、調剤併設化の推進を進め、巣ごもり需要の取り込みや利便性の強化を図ってまいりました。

また、DX戦略としてアプリ会員の拡大、顧客データの販促策への活用に取り組むとともに、プライベートブランドにおいては、新ブランド「くらしリズム」「くらしリズムMEDICAL」への刷新と展開拡大を図りました。

店舗展開につきましては、競争力強化のため不採算店舗の改廃を進めた結果、期首より32店舗の新規出店と32店舗の閉店を実施したほか、事業譲受した1店舗が加わり、当第1四半期末のグループ店舗数は直営店で2,523店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり

(単位：店舗)

	前期末 店舗数	出店	子会社化 等	閉店	純増	第1四半期末 店舗数	うち 調剤薬局
北海道	422	1	—	8	△7	415	113
東北	570	6	1	9	△2	568	117
関東甲信越	520	7	—	5	2	522	205
中部・関西	247	5	—	4	1	248	139
中国	326	6	—	—	6	332	112
四国	220	4	—	—	4	224	66
九州・沖縄	217	3	—	6	△3	214	31
国内店舗計	2,522	32	1	32	1	2,523	783

上記のほか、海外店舗17店舗、FC加盟店舗6店舗を展開しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,431億81百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益133億17百万円（同3.3%増）、経常利益133億57百万円（同3.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益75億1百万円（同0.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて418億32百万円減少し、5,205億31百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて486億33百万円減少し、2,296億84百万円となりました。

資産合計、負債合計の減少のおもな要因は、前連結会計年度末が金融機関休業日であったことに伴う、現金及び預金、買掛金の減少等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて68億円増加し、2,908億46百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は4.9ポイント増加し、50.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月21日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	127,026	80,473
売掛金	49,155	41,718
商品	132,314	134,288
原材料及び貯蔵品	121	120
短期貸付金	1	1
その他	19,895	21,216
流動資産合計	328,514	277,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,948	55,798
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	14,702	15,167
土地	14,435	14,581
リース資産（純額）	7,098	8,076
建設仮勘定	2,113	1,855
有形固定資産合計	91,299	95,479
無形固定資産		
のれん	34,281	33,298
ソフトウェア	2,494	2,766
電話加入権	104	104
その他	1,145	1,488
無形固定資産合計	38,025	37,658
投資その他の資産		
投資有価証券	26,723	30,857
長期貸付金	9	9
繰延税金資産	6,647	6,501
差入保証金	65,481	66,270
その他	5,723	5,996
貸倒引当金	△62	△62
投資その他の資産合計	104,523	109,574
固定資産合計	233,849	242,712
資産合計	562,363	520,531

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,660	111,489
1年内返済予定の長期借入金	7,200	7,200
未払金	20,347	16,819
リース債務	551	531
未払法人税等	5,278	5,171
契約負債	10,418	11,792
賞与引当金	5,996	3,228
役員賞与引当金	680	161
ポイント引当金	291	296
その他	7,188	8,214
流動負債合計	213,613	164,906
固定負債		
長期借入金	39,475	37,675
リース債務	8,294	9,429
繰延税金負債	5,204	6,327
退職給付に係る負債	4,119	2,984
資産除去債務	3,847	3,894
その他	3,763	4,466
固定負債合計	64,704	64,777
負債合計	278,317	229,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,322	11,339
資本剰余金	29,375	29,392
利益剰余金	205,714	209,161
自己株式	△5,312	△5,313
株主資本合計	241,098	244,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,988	19,856
退職給付に係る調整累計額	△52	△43
その他の包括利益累計額合計	16,936	19,812
新株予約権	2,269	2,383
非支配株主持分	23,740	24,070
純資産合計	284,046	290,846
負債純資産合計	562,363	520,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年5月16日 至 2021年8月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月16日 至 2022年8月15日)
売上高	235,684	243,181
売上原価	166,558	170,806
売上総利益	69,126	72,374
販売費及び一般管理費	56,237	59,057
営業利益	12,889	13,317
営業外収益		
受取利息	32	30
受取配当金	74	77
備品受贈益	92	139
受取賃貸料	57	59
受取補償金	150	23
受取保険金	33	10
その他	131	109
営業外収益合計	572	449
営業外費用		
支払利息	171	265
中途解約違約金	—	68
休業店舗関連費用	239	71
その他	106	3
営業外費用合計	516	408
経常利益	12,944	13,357
特別利益		
固定資産売却益	0	—
補助金収入	25	—
その他	0	—
特別利益合計	27	—
特別損失		
固定資産除却損	6	15
減損損失	—	68
特別損失合計	6	84
税金等調整前四半期純利益	12,965	13,273
法人税等	4,624	4,725
四半期純利益	8,341	8,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	804	1,046
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,536	7,501

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年5月16日 至 2021年8月15日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年5月16日 至 2022年8月15日）
四半期純利益	8,341	8,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	968	2,887
退職給付に係る調整額	19	10
その他の包括利益合計	988	2,898
四半期包括利益	9,330	11,446
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,507	10,378
非支配株主に係る四半期包括利益	822	1,068

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。